

H26. 6. 7

下痢と便秘のお話



長尾和宏 (ながお・かずひろ)
東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。平成7年、尼崎市で「長尾クリニック」を開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る、総合診療を目指す。医学博士。近著「平穏死・10の条件」「胃ろうという選択、しない選択」はいずれもベストセラー。関西国際大学、東京医科大学客員教授。55歳。



「胃腸」シリーズ⑥

下痢だけで受診される方がいます。

「何度、下痢をしたのですか?」「2回です!」「えっ? たった2回?」。

その人は普通便しか出たことがないらしく、2回下痢しただけで不安になり受診されました。私の診断はウイルス性胃腸炎。「2食抜いて、スポーツドリンクをチビチビ飲んでください」と説明しました。ウイルス性胃腸炎の多く

どんな時に医療機関に行くべきか

ら、虚血性腸炎や大腸がんも疑われます。いずれにせよ、詳しい問診、便の細菌検査、そして少なくとも直腸S状結腸の内視鏡検査が必要です。

医師が一番気にするのは、下痢や血便の症状がいつからあるかです。1日前からか、1週間前からか、1カ月前からなのか、それ以上前からなのか。要は急性か慢性かを一番知りたいのです。それぞれで想定する病気がまったく異

なるからです。急性のもの大半はウイルス性。しかし慢性のもののがんや難病など、厄介な病気の可能性があります。慢性的な下痢や血便は放置してはいけません。重大な病気の可能性があるのです。診断・治療が遅れると後悔することになります。

便秘を訴えて受診される人

「いい下剤はありませんか?」とよく聞かれます。センナ製剤が有名ですが、漢方薬もよく使います。肥満の方には防風通聖散が好まれます。そのなかで、便秘薬の代表はなんととっても酸化マグネシウム製剤です。これは緩下剤で、便を軟らかくする薬です。

マグネシウムを含むのでたくさん飲まれる方は、高マグネシウム血症に注意が必要です。認知症と誤診されることもあります。時々、血中マグネシウム値をチェックしてください。

酸化マグネシウム 腸管内で水分の吸収を高め腸の蠕動運動を助けて排便を促す。粉末と錠剤がある。身体への負担も少なく、医薬品としての年間処方数として上位10位に入る。下剤としての使用は日本が最も多く、他国ではほとんど使用されていない。

「せっかく病院に来たんだから洗腸ぐらいしてよ」と怒られて、慌てて「じゃあ、看護師さん(洗腸)お願いね」

だぞい。

「3日も出ていません!」。

それぐらいの便秘は誰にでもあることなので「普通に食べられるんだし、あと1日待ってみましょうか?」と言って

も、待てない人が多いんです。

「せっかく病院に来たんだから洗腸ぐらいしてよ」と怒られて、慌てて「じゃあ、看護師さん(洗腸)お願いね」

だぞい。

わちんぽ